

平成2 4 ~~3~~年度

科学研究費補助金公募要領

(特別推進研究、基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究 (A・B))

「特別推進研究」関係部分のみ

~~平成22年9月1日~~

独立行政法人日本学術振興会

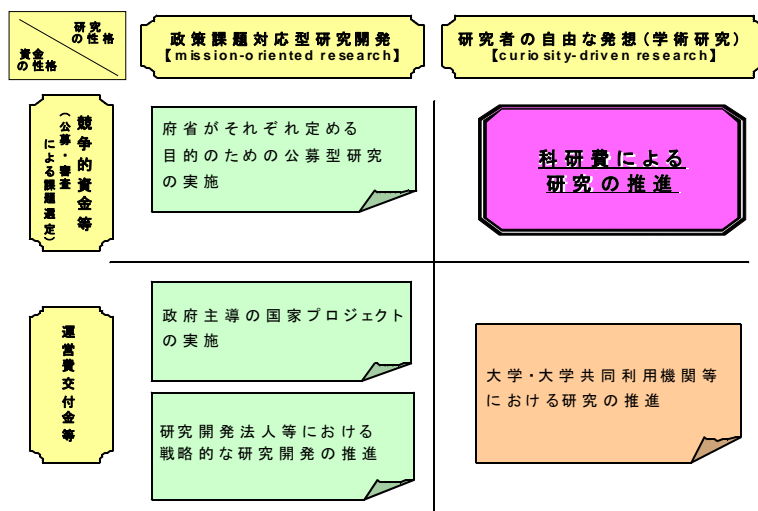
(<http://www.jsps.go.jp/>)

I 科学研究費補助金の概要

1 科学研究費補助金の目的・性格

科学研究費補助金（科研費）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、ピア・レビュー（専門分野の近い複数の研究者による審査）により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

＜我が国の科学技術・学術振興方策における「科研費」の位置づけ＞



※ 科研費（2,000億円）は、政府全体の競争的資金（約4,631億円）の約43%を占めています。（平成22年度）

2 研究種目

研究機関が研究者に代わってその管理及び諸手続を行うものは、次の研究種目です。

研究種目等	研究種目の目的・内容
科学研究費	
特別推進研究	国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究 (期間3～5年、1課題5億円程度を 応募総額の上限 の目安とするが、 上限、下限とも 制限は設けない)
特定領域研究	我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取組が必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定して機動的かつ効果的に研究の推進を図る (期間3～6年、単年度当たりの目安1領域 2千万円～6億円程度)
新学術領域研究	(研究領域提案型) 研究者又は研究者グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成等の取り組みを通じて発展させる (期間5年、単年度当たりの目安1領域 1千万円～3億円程度) (研究課題提案型) 確実な研究成果が見込めるとは限らないものの、当該研究課題が進展することにより、学術研究のブレークスルーをもたらす可能性のある、革新的・挑戦的な研究(期間3年、単年度当たり1千万円程度)
基盤研究	(S) 1人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究 (期間 原則5年、1課題 5,000万円以上2億円程度まで) (A)(B)(C) 1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間3～5年) (応募総額によりA・B・Cに区分) (A) 2,000万円以上 5,000万円以下 (B) 500万円以上 2,000万円以下 (C) 500万円以下
挑戦的萌芽研究	独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設定を掲げた芽生え期の研究(期間1～3年、1課題 500万円以下)
若手研究	(S) 42歳以下の研究者が1人で行う研究(期間5年、1課題 概ね3,000万円以上1億円程度まで) (A)(B) 39歳以下の研究者が1人で行う研究 (期間2～4年、応募総額によりA・Bに区分) (A) 500万円以上3,000万円以下 (B) 500万円以下
研究活動スタート支援	研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者等が1人で行う研究 (期間2年以内、単年度当たり150万円以下)
奨励研究	教育・研究機関の職員、企業の職員又はこれら以外の者で科学研究を行っている者が1人で行う研究
特別研究促進費	緊急かつ重要な研究課題の助成
研究成果公開促進費	
学術図書	個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の助成
データベース	個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、公開利用を目的とするものの助成
特別研究員奨励費	日本学術振興会の特別研究員(外国人特別研究員を含む)が行う研究の助成(期間3年以内)
学術創成研究費	科学研究費補助金等による研究のうち特に優れた研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図る(推薦制 期間5年)

※このほか、「研究成果公開促進費」の中に研究成果公開発表(B・C)や学術定期刊行物の応募区分があります。

3 各研究種目の内容

① 特別推進研究

ア) 対象 国際的に高い評価を得ている研究をより一層推進するために、研究費を重点的に交付することにより、格段に優れた研究成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画

イ) 応募総額 (研究期間全体での総額。以下同じ)

1 研究課題の応募金額の総額は、5億円程度までを上限の目安としますが、真に必要な場合には、それを超える応募も可能です。また、下限については制限は設けません。

~~※ 応募総額の目安について~~

~~原則総額5億円程度、年間1億円程度までとしますが、真に必要な場合に限り、それを超える応募も可能です。~~

※ 応募金額の総額が5億円を超える研究計画の取扱い

~~原則応募総額が5億円程度、年間1億円程度までとしますが、真に必要な場合に限り、それを超える応募も可能です。~~ を超える場合、必要とする理由を研究計画調書の該当欄に詳細に記入していただき、その適切性等について、特に厳正な審査を行います。

※ 応募総額の下限について

国際的に高い評価を得ている研究をより一層推進し、格段に優れた研究成果を期待する研究種目であって、応募総額に下限を設けてないことから、応募総額の少ない研究計画での応募も可能です。

ウ) 研究期間 3～5年間

エ) 採択予定課題数 おおむね十数件程度 (極めて厳選されたもの)

オ) 留意事項 採択された研究課題については、研究期間の最終年度前年度 (研究期間が3年の研究課題については最終年度) に研究進捗評価を行います。なお、研究進捗評価の結果に基づき、必要に応じてそれ以降の研究経費の増額、減額、研究の中止等を行います。

② 基盤研究 (S)

ア) 対象 一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画であって、これまでの研究成果を踏まえて、さらに独創的、先駆的な研究を格段に発展させるための研究計画

イ) 応募総額 5,000万円以上 2億円程度まで

ウ) 研究期間 原則として5年間

エ) 留意事項 ① 定年等により退職し、研究機関を離れることが予想される場合等には、例外として、3年間又は4年間の研究期間であっても差し支えありません。

② 採択された研究課題については、研究期間の最終年度前年度 (研究期間が3年の研究課題については最終年度) に研究進捗評価を行います。なお、研究進捗評価の結果に基づき、必要に応じてそれ以降の研究経費の増額、減額、研究の中止等を行います。

(平成23年6月10日開催 日本学術振興会科学研究費委員会会議資料)

科学研究費委員会各小委員会での主な意見について

- 特別推進研究は、毎年、新規採択件数が10数件程度と厳選しているが、非常に優れた研究課題が多く、選定に苦慮している。
- ・ 人文社会系では、応募件数が少ないことから採択目安件数が1件に満たない状況となり、いくら優れた課題であっても2件目の採択は極めて難しい。

特別推進研究の応募件数、採択件数及び採択率について

【新規応募課題】

区 分		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人文・社会系	応募件数	18	5	9	6	7	7	5	2	5	5
	採択件数	2	0	2	2	1	2	2	0	1	1
	採択率	11.1%	0.0%	22.2%	33.3%	14.3%	28.6%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%
理工系	応募件数	－	100	82	94	97	89	80	63	79	73
	採択件数	－	11	11	11	12	12	12	8	10	10
	採択率	－	11.0%	13.4%	11.7%	12.4%	13.5%	15.0%	12.7%	12.7%	13.7%
数物系科学	応募件数	－	37	28	29	38	34	37	31	29	26
	採択件数	－	5	5	3	5	5	6	4	4	4
	採択率	－	13.5%	17.9%	10.3%	13.2%	14.7%	16.2%	12.9%	13.8%	15.4%
化学	応募件数	－	24	21	19	23	23	21	10	19	14
	採択件数	－	3	3	3	3	4	3	2	4	2
	採択率	－	12.5%	14.3%	15.8%	13.0%	17.4%	14.3%	20.0%	21.1%	14.3%
工学	応募件数	－	39	33	46	36	32	22	22	31	33
	採択件数	－	3	3	5	4	3	3	2	2	4
	採択率	－	7.7%	9.1%	10.9%	11.1%	9.4%	13.6%	9.1%	6.5%	12.1%
物理系	応募件数	66	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	採択件数	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	採択率	7.6%	－	－	－	－	－	－	－	－	－
化学系	応募件数	38	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	採択件数	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	採択率	13.2%	－	－	－	－	－	－	－	－	－
生物系	応募件数	44	41	37	51	45	43	29	18	27	28
	採択件数	4	5	6	7	5	6	5	4	4	4
	採択率	9.1%	12.2%	16.2%	13.7%	11.1%	14.0%	17.2%	22.2%	14.8%	14.3%
合計	応募件数	166	146	128	151	149	139	114	83	111	106
	採択件数	16	16	19	20	18	20	19	12	15	15
	採択率	9.6%	11.0%	14.8%	13.2%	12.1%	14.4%	16.7%	14.5%	13.5%	14.2%

特別推進研究の配分額について

【新規採択課題】

(単位:千円)

区 分		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
人文・社会系	配分額	722,000	0	524,800	425,800	500,400	336,400	458,400	0	459,500	441,500
	1件当たりの平均配分額	361,000	0	262,400	212,900	500,400	168,200	229,200	0	459,500	441,500
理工系	配分額	-	3,457,000	3,233,300	3,319,800	3,924,700	4,878,100	4,493,600	3,291,200	4,063,600	3,661,700
	1件当たりの平均配分額	-	314,273	293,936	301,800	327,058	406,508	374,467	411,400	406,360	366,170
数物系科学	配分額	-	1,737,000	1,811,600	1,245,200	1,530,300	1,983,000	2,471,300	1,788,300	1,612,800	1,488,500
	1件当たりの平均配分額	-	347,400	362,320	415,067	306,060	396,600	411,883	447,075	403,200	372,125
化学	配分額	-	1,021,000	507,700	741,000	938,500	1,656,100	735,500	833,000	1,631,800	643,600
	1件当たりの平均配分額	-	340,333	169,233	247,000	312,833	414,025	245,167	416,500	407,950	321,800
工学	配分額	-	699,000	914,000	1,333,600	1,455,900	1,239,000	1,286,800	669,900	819,000	1,529,600
	1件当たりの平均配分額	-	233,000	304,667	266,720	363,975	413,000	428,933	334,950	409,500	382,400
物理系	配分額	1,684,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1件当たりの平均配分額	336,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学系	配分額	1,504,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1件当たりの平均配分額	300,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生物系	配分額	1,867,000	2,079,000	2,128,600	2,619,000	3,221,800	3,006,100	2,250,800	1,889,200	1,686,900	1,730,500
	1件当たりの平均配分額	466,750	415,800	354,767	374,143	644,360	501,017	450,160	472,300	421,725	432,625
合計	配分額	5,777,000	5,536,000	5,886,700	6,364,600	7,646,900	8,220,600	7,202,800	5,180,400	6,210,000	5,833,700
	1件当たりの平均配分額	361,063	346,000	309,826	318,230	424,828	411,030	379,095	431,700	414,000	388,913

※ 金額については、研究期間全体の配分額によるものである。